

第2期西東京市スポーツ推進計画 令和7年度評価及び令和8年度目標調査票

資料4

入力方法
2 参照

入力方法
3 (1)参照

入力方法
3 (2)ア、イ 参照

入力方法
3 (3)参照

入力方法
3 (4)参照

入力方法
4 参照

入力方法
5 参照

基本目標1 ライフステージに応じたスポーツの推進

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価									令和8年度担当課目標
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント							次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画
					評価の着眼点					担当課評価コメント	評価		
					I	II	III	IV	V				
(1) 子どものスポーツ推進	① 子どもがスポーツに親しむ場の充実 公共施設や公園などに、子どものためのスポーツ指導者の派遣やスポーツに関連するプログラムの提供などを体系的に行うことにより、子どもがスポーツを楽しめる場を充実します。	児童青少年課	東京都スポーツ文化事業団の指導者派遣等を利用するなど、各児童館の施設の特性に合わせた運動イベントの開催を検討する。										
		指定管理者	・健康広場・芝久保運動場の個人開放の実施。 ・向台運動場で毎月1回の屋外施設無料開放デーを実施する。										
		総合型地域スポーツクラブ	未就学児～小学6年生までの初心者教室の会員増に向けた工夫を検討する。(I)										
			・参加者が安定しないプログラムもあるため広報を徹底し、今までの事業を継続しつつ新たな取り組みも試みる。(コ)										
		スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	小学生から参加可能な市外で実施するウォーキング事業の実施(秋、七福神ウォーキング) ※春はスポーツ推進委員の改選期のため実施せず										
	② 子どもがスポーツに親しむ機会の充実 子どものスポーツ機会の充実を目的として、各種教室・大会等を企画・開催します。	児童青少年課	児童館毎に職員・用具・空間の体制調整を行い、スポーツを身近なものと感じられるようなイベントを企画検討を行う。(卓球・ポッチャ等)										
		指定管理者	・子どもプール教室、アルパルクバスケットボール教室、池田体操教室等の実施。 ・市総体等と日程が重なるため、スポーツフェスティバルの開催時期の再検討を行う。										
		体育協会	・スポーツまつり競技種目及びイベントで参加しやすいものを開催前の早い段階で決める。 ・リレーマラソンは小学生以下の参加者数目標を50名以上とする。										
		総合型地域スポーツクラブ	小学生バドミントン大会を継続して実施する。(I)										
			・不定期開催のため参加者が集まりづらいため、募集の告知を徹底する。(コ)										
		スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	ドッジボール交流会の開催 7月5日(土):3・4年生対象 2月14日(土):5・6年生対象 会場:西東京市スポーツセンター										

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価									令和8年度担当課目標
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント						次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画	
					評価の着眼点					担当課評価コメント			評価
					I	II	III	IV	V				
	③ スポーツに親しむきっかけづくり だれもが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、親しみやすい初心者向け教室やイベント、ニューススポーツイベント等を企画・開催します。	児童青少年課	各児童館毎に職員、用具、空間の体制を調整し、スポーツを身近なものと感じられるようなイベントを企画する。（卓球・ポッチャ等）										
		指定管理者	モルック体験会、スポーツフェスティバルの開催、ニューススポーツ体験会の開催。 市総体等と日程が被るため、スポーツフェスティバルの開催時期を検討する。										
		体育協会	・スポーツまつり競技種目及びイベントで参加しやすいものを、開催前の早い段階で決める。 ・モルックについては1日当たりの参加者数を20名以上とする。										
		総合型地域スポーツクラブ	モルック、ノルディックウォーキングの定期的開催及びホームページを活用した広報の実施を行う。(に)										
			より内容も充実させて、ココスポでしか経験出来ないことも積極的に取り入れて実施する。(コ)										
		スポーツ振興課（スポーツ推進委員）	ENJOYニューススポーツの実施種目を検討しながら、毎月最終日曜日開催。 3月については交流会を開催する。										
	④ トップアスリートに触れる機会の推進 様々な種目のトップアスリートの経験談を聞く機会、スポーツ教室等において実際のパフォーマンスを見る機会等、トップアスリートと直接触れ合う機会を提供します。	指定管理者	・FC東京との連携事業の実施。 ・スポーツフェスティバルでの著名人の講師依頼をする。										
		総合型地域スポーツクラブ	プロ選手との連携を増やすことを検討する。(に)										
			・引き続き密に連絡を取り、アスリートのオフ期間を活用して機会があれば実施できるよう繋げていきたい。										
		スポーツ振興課	・早稲田大学野球教室の開催 ・早稲田大学競技スポーツセンター、早稲田大学硬式野球部・準硬式野球部、市内軟式野球連盟少年部、市内リトルシニア野球協会との連携を引き続き行う。										
	⑤ 競技力向上につながるスポーツの機会の充実、活動の支援 スポーツへの意欲が高く、競技力の向上を目指す人の活動を支えるため、市内及び周辺地域の指導者やクラブの情報提供、活動の支援等に取り組みます。	指定管理者	指導者講習会の実施（Vリーガーを招いてのジュニアバレーボール教室開催予定）										
		体育協会	・上部大会への参加者数は平年並みを目指す。 ・相談窓口はLINE相談を増やし、これまでの実績を上回る相談数を目指して広報活動を行う。										
		総合型地域スポーツクラブ	よりスポーツ関係団体とコミュニケーションを取り連携を密にする(に) 大会や練習のスケジュールに左右されるため、日頃から連絡を取って密に計画を立てる。(コ)										
		スポーツ振興課	・FC東京との連携を行う。 ・FC東京「西東京の日」の実施による連携の強化を行う。 ・サッカー教室の実施を検討する。										

2

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価									令和8年度担当課目標
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント						次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画	
					評価の着眼点					担当課評価コメント			評価
					I	II	III	IV	V				
	⑥ 学校部活動の地域連携・地域移行の検討 部活動は、教科学習と異なる集団での活動を通した人間形成の機会や多様な生徒が活躍できる場ですが、教師にとっては長時間勤務の要因となること、指導経験がない等、多大な負担となっていることから、国や東京都は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を検討しています。そのことを踏まえ、地域の多様な団体等が学校と連携しながら運営・実施する地域クラブ活動によって、生徒の活動機会を確保していくよう、教育委員会と調整していきます。	教育指導課	・西東京市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会（最終）（以下、委員会という。）を開催する。 ・委員会での検討結果を報告書にまとめ、今後の方針を策定する。										
		体育協会	体協加盟団体と行政を含む外部団体の活用、連携からで指導者派遣へ結びつける。										
		総合型地域スポーツクラブ	・学校部活動へ指導者の派遣を検討したが、令和6年度実施なし。（に） ・社会経験のない大学生(院生)の場合は、技術指導よりも生活指導の面での検討が必要(コ)										
			関係機関の協力を得ながら、様々なケースを想定しながら継続して実施する。（コ）										
		スポーツ振興課	課題を踏まえ、引き続き協議体に参加し、教育委員会をはじめ関係機関と調整・検討する。 学校部活動の地域連携・地域移行の方向性を示せるかが課題である。										
(2) 成人のスポーツ推進	① 健康づくりにつながるスポーツの推進 成人向けのスポーツを通した健康増進を図るため、運動健康教室や運動健康相談サービス、体力テストなどの企画・開催を推進します。	健康課	健康づくりの習慣化を目的にあるチャレ、ウォークラリーを3回、市民まつりにてイベントを実施予定。健診などの情報についてメッセージによる呼びかけの実施する。										
		指定管理者	各施設での教室の実施。（エアロビクス、ヨガ、健康体操等） 利用者の声をできる限り反映できるよう努める。										
		体育協会	相談窓口はLINE相談を増やし、これまでの実績を上回る相談数を目標とする。また利用促進のための広報活動を行う。										
		総合型地域スポーツクラブ	グラウンドの稼働率を高めるためホームページでの紹介、ポスター活用、一般参加などの方法を検討しながら、非会員からの使用要望に対応する。（に）										
			引き続き現状確保しながら、指導者の人材確保及び費用面での課題があるものの継続できるよう取り組む。（コ）										
		スポーツ振興課（スポーツ推進委員）	10月5日（日）会場：南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」で実施。 東京都国民健康保険団体連合会へ骨密度計測器の借用を打診したが、すでに他自治体への貸出が決定していたため借りれなかった。実施日程が決まり次第、借用依頼を										
	② 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会の充実 スポーツをする時間を確保することが難しい、働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を創出するため、夜間・休日の各種講座や教室等の充実、公共スポーツ施設への保育機能を提供します。 また、子育て世代に向けては、親子・家族でスポーツを実施する機会を充実していきます。	指定管理者	総合体育館にキッズルームを設置し、子育て中でも運動が出来る環境の整備に向けて検証する。託児付き教室の要望が多いが、保育士の確保及び費用面で課題がある。										
		体育協会	・相談窓口はLINE相談を増やし、これまでの実績を上回る相談数を目標とする。 ・スポーツ教室の継続実施										

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価									令和8年度担当課目標			
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント							次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画			
					評価の着眼点					担当課評価コメント	評価					
					I	II	III	IV	V							
	実施しています。	総合型地域スポーツクラブ	・現在のクラブ運営環境の維持、親子で楽しめるイベントの検討を行う。(I)													
			・グラウンド照明が無いため夜間教室の提供や、体育館に空調が無い ため利用者の体調管理などの課題有。(I)													
			・テニスサークル抽選方法を改善する。(I)													
			・引き続き各種講座や教室を開催していることを告知する。(コ)													
		スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	ENJOYニュースポーツを、実施種目の検討をしながら毎月最終日曜日開催。 3月については交流会を開催する。													
	③	スポーツに親しむきっかけづくり【再掲】 だれもが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、親しみやすい初心者向け教室やイベント、ニュースポーツイベント等を企画・開催します。	指定管理者	モルック体験会、スポーツフェスティバル、ニュースポーツ体験会の開催。 スポーツフェスティバルの開催時期が市総体と被るための再検討が必要。												
			体育協会	スポーツまつり競技種目及びイベントで参加しやすいものを10月13日までに検討する。												
			総合型地域スポーツクラブ	初心者向けの受け皿として、卓球教室を検討中(I)												
				・開催場所や回数などには限りがあるため現状のまま継続していく。(コ)												
				・プログラムによっては定員に達し順番待ちのケースもある一方で、参加者が増えないプログラムが課題。(コ)												
			スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	ENJOYニュースポーツを毎月最終日曜日開催。 3月については交流会を開催する。 実施種目の検討をしながら引き続き実施する。												
			④	競技力向上につながるスポーツの機会の充実、活動の支援【再掲】 スポーツへの意欲が高く、競技力の向上を目指す人の活動を支えるため、市内及び周辺地域の指導者やクラブの情報提供、活動の支援等に取り組めます。	指定管理者	・各子供教室を実施する。(プール、バスケ、体操など) ・講師を選任して指導者講習会を開催する。										
					体育協会	・上部大会への参加者数は平年並みを目標とする。 ・相談窓口はLINE相談の増で前年度以上の実績を目標とする。 ・スポーツ相談窓口の利用促進のための広報活動を行う。										
					総合型地域スポーツクラブ	ホームページの充実、市報での紹介などにより認知度を高める。(I)										
	・eスポーツなどの導入も検討する。(コ) ・クラブ事業の参加者数は安定しているが収益を上げる工夫を検討する。(コ)															
	スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	・体育協会、指定管理者等で実施している各種スポーツ教室等の周知に力を入れる。 ・他課からの要請によるスポーツ推進委員の派遣に向け、派遣依頼の時期、人員等可能な範囲で引き続き実施する。														

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価									令和8年度担当課目標
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント						次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画	
					評価の着眼点					担当課評価コメント			評価
					I	II	III	IV	V				
(3) 高齢者のスポーツ推進	① スポーツに親しむきっかけづくり【再掲】 だれもが気軽にスポーツを楽しむことができるよう、親しみやすい初心者向け教室やイベント、ニュースポーツイベント等を企画・開催します。スポーツへの意欲の高い高齢者のスポーツの実施機会の拡充のために、高齢者クラブの活動支援や、高齢者がメインのスポーツ大会、シニアスポーツを企画・開催します。	高齢者支援課	引き続き適切な補助金業務を効率的に行い、大会開催を継続できるようにする。										
		指定管理者	モルック体験会、スポーツフェスティバル、ニュースポーツ体験会の開催。 スポーツフェスティバルの開催時期が市総体と被るための再検討が必要。										
		体育協会	・スポーツまつり競技種目及びイベントで、高齢者が参加しやすい種目を10月13日までに決める。 ・モルックは1日当たりの参加者数を20名以上とする。										
		総合型地域スポーツクラブ	ホームページ、市報による一般への交流会参加者募集を継続し、認知度を高める。(に)										
			健康体操・ヨガ・ピラティス等の定期開催と、散歩・ウォーキング事業を年に一度限定開催し、定着事業とする。										
		スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	実施種目の検討をしながら、引き続きENJOYニュースポーツを毎月最終日曜日に開催 3月については交流会を開催する。										
	② スポーツを通じた介護予防・フレイル予防の推進 スポーツを通じた介護予防・フレイル予防を推進するため、セミナーの開催、運動・体操プログラムの提供、高齢者向け体カテスト等の機会の充実やICTを活用したオンラインによるスポーツ対戦や体操等の取組を推進していきます。	高齢者支援課	引き続きトレーニングマシンを安全に円滑に運用できるように管理する。										
		指定管理者	・シルバーウィークの開催 ・フレイルセミナーの開催 ・健康マージャン開催 ・フレイルサポーターの講習会参加しやすいよう検討する										
		体育協会	・モルックは1日当たりの参加者数を20名以上とする。 ・シニア事業の参加人数を令和6年度以上を目標とし、より多くの方に参加できるよう計画する。										
		総合型地域スポーツクラブ	・ラグビー競技人口を増やすためイベントの実施を検討する。(に)										
			・AED講習会などを継続実施する。(に)										
			指導者講習会開催の検討をし、既存のプログラムの継続と新しいプログラムの検討を行う(こ)										
	スポーツ振興課 (スポーツ推進委員)	体カテスト実施検討(令和7年10月5日(日)開催予定) 今年度は骨密度計測機械がすでに決定があり借りれなかった。実施日程が決まり次第、依頼をする。											
	③ スポーツを通じた地域参加の機会の充実 スポーツを通して、地域での仲間づくりや生きがいづくりを行うことができるよう、地域包括支援センターや地	高齢者支援課	スポーツ相談窓口事業連絡会に担当者が出席し、活用方法を理解し必要な時に連携が図れるようにしていく。										

施策の柱	施策	担当課・団体	令和7年度	令和7年度評価								令和8年度担当課目標	
			具体的な取組内容	取組実績	担当課・団体の評価とコメント					次年度への課題	具体的な事業 又は取組計画		
					評価の着眼点							担当課評価コメント	評価
					I	II	III	IV	V				
	域サポートリンク等と連携し、ボランティア等の活躍の場や機会を充実するとともに、地域参加の機会を充実していきます。	スポーツ振興課	多世代の市民が参加することができスポーツを通して交流を図れるよう、引き続きイベント内容を検討して実施する。 市民スポーツまつりの開催。 (令和7年10月13日(月・祝)開催予定)										